

令和4年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

愛媛県

行事名称	国指定重要文化財『渡部家住宅』火災防御訓練
実施期間・日時	令和5年1月25日(水) 10:00~11:00
実施場所	松山市東方町甲1238番地 国指定重要文化財 渡部家住宅
主催者	松山市消防局、一般財団法人 重要文化財渡部家住宅保護財団

■実施内容

訓練の想定

松山市に数日前から火災気象通報が発令され、火災の発生しやすい状況の中、渡部家住宅の湯沸室から出火し、強風の影響で重要文化財である渡部家住宅主家へ延焼拡大しそうになった。

訓練の内容

財団職員による火災発見、通報、初期消火(消火器、放水銃)。自主防災会・女性防火クラブによるバケツリレー。消防署、消防団による放水訓練。消防署による救助訓練、ドローンによる再検索・延焼防止措置。を実施。

参加者及び役割分担

一般財団法人重要文化財渡部家住宅保護財団 2名 : 発見・通報・初期消火

東方町自主防災会 30名、荏原地区女性防火クラブ 10名 : 初期消火

松山南警察署 2名 : 交通整理

松山市消防団 1台 5名 : 放水

松山市南消防署 5台 23名 : 総括指揮・放水・救助・講評

松山市中央消防署 3名 : ドローン

松山市教育委員会文化財課 2名、松山市久谷支所 1名、松山市荏原公民館 2名 : 立会

特に工夫した点

ドローンを使用した火災再検索・延焼防止確認を初めて行った。地元団体と公設消防隊の連携に注力した。

問題点・課題

渡部家住宅には、居住者がいないため、火災覚知から初期消火までタイムラグがある。迅速な初期消火体制の維持のためにも周辺住民との連携が必要であるが、地域の少子高齢化と過疎化が課題。

その他

周辺住民との連携確認や迅速スムーズな初期消火体制の確認のためにも、文化財防火デーにおける火災防ぎょ訓練が重要。

訓練風景



初期消火訓練 (バケツリレー)



放水訓練